

イルカと泳ぎました!

ジャンプのサイン

ホイッスル
トレーナーは「OK」の合図でホイッスル(大笛)を吹くよ。

イルカへのサイン出し
トレーナーに数種類のサインを習い、カマイルカとバンドウイルカに指示を出してみたよ。

回転
右手を左の前あたりから差し出すと……握手!!

握手

グルグル
右手を挙げて立ち泳ぎしながら回転したら、いっしょにグルグル回ってくれた!

ジャンプ
右手を左の肩あたりからサッと右に広げると、イルカがすばやく泳いで勢いをつけジャンプ!

めざせイルカのトレーナー

背ビレをつかんでスイム!
泳いで近づいてくるイルカの背ビレを前からつかみ、すばやく体の向きを入れ替えて背の上で泳ぐ! 6人全員が大成功!! 写真の中野心愛さんは「イルカが助けてくれたから泳げたんです。イルカは本当に賢い!」と話していたよ。

▽サバ、ホッケなどの腸を指で取り出してから切る。
▽海獣医療センターで血液チェック。
▽胸ビレの横の心臓の動きを確認する。

みんな上手!!
WAO スクーラ

獣医師の仕事体験
心拍チェック
エサづくり

シャチとベルーガにも大接近!

キューイキューイと甲高い声で鳴くベルーガは、海のカナリアと呼ばれるクジラの仲間。流水が漂う北極海にすんでいるので、氷にぶつからないように背ビレはない。速く泳ぐシャチやイルカは、体を安定させるために背ビレが必要。シャチのオスの背ビレは最大で1.8mにもなる!!

あてこぼれモチモチ!!

シャチの骨格標本
イルカの体を寝かせて触診してみた野村実花さんは、「触り心地がナスに似てる!」。それまたびっくりだね。

▼客席に豪快に水しぶきを浴びせたり、シャチとトレーナーが一緒にジャンプしたり、大迫力のパフォーマンス!

▲トレーナーの指示で口を開けたシャチ。40~50本の歯があるのに魚は丸のみだよ。

イルカの背ビレにつかまりプールを半周した参加者たち。満面の笑みなのに「いたたた」とお腹をさすっている。イルカと泳いで痛いってどういうこと? 「イルカは尾ビレを上下に動かして泳ぐでしょ」と鈴木碧海さん。「動くたびに私のお腹にあたるから痛いんです」と菅野真希さん。それはびっくり!

鴨川シーワールドのトレーナーはパフォーマンスだけでなく飼育も担当する。プールから体を出させたり、仰向けにさせたりと動きをトレーニングするのは、体重・体温測定のためでもあるんだ。イルカの体を寝かせて触診してみた野村実花さんは、「触り心地がナスに似てる!」。それまたびっくりだね。

「知る」が飼育の第1歩

イルカやシャチはヒトと同じ哺乳類。肺で呼吸し、お腹で赤ちゃんを育て、乳をあげる。イルカの口のまわりをよく見ると、毛が生えていた痕があり、胸ビレには5本指の骨もある。体温は36度6分ぐらい。私たちに似ているね。

鴨川シーワールドのトレーナーは1日に2回、肛門に体温計を入れて体温検査をしているよ。そのときのイルカは、仰向けになって静止!

鴨川シーワールドの職業体験プログラム「ジュニアトレーナー」に参加した、前列左から鈴木碧海さん(5年)、菅野真希さん、荒井まことさん(6年)、後列左から野村実花さん・佐藤さきさん・中野心愛さん(5年)。今後の開催はホームページでチェックを!